




医療法人靖和会 飯能靖和病院

〒357-0016 埼玉県飯能市下加治137-2
TEL.042-974-2311(代)/FAX.042-974-2316
[地域医療連携室直通 TEL.042-974-2786]

<http://www.hannouseiwa.or.jp>

 <https://www.facebook.com/hannouseiwa>

医療法人 靖和会

(医)靖和会 飯能靖和病院	042(974)2311
(医)靖和会 介護老人保健施設 やまぶきの郷	049(287)1155
(医)靖和会 介護老人保健施設 小江戸の郷	049(229)5300
(医)靖和会 飯能市東吾野医療介護センター	042(978)2000

HANNNOSEIWA HOSPITAL

心のかようぬくもりの医療・看護・介護をめざして

医療法人 靖和会  **飯能靖和病院**

HOSPITAL
GUIDE



理事長
木川 浩志

地域における役割を意識した病院づくりを

当院は平成27年に創立35周年を迎えました。これもひとえに皆様方のご高配とお力添えの賜と心より感謝申し上げます。

長く療養中心に歩んできた当院でしたが、現在ではさまざまな病状に対応しうるフレキシブルな病院という位置付けになっています。その役割をより明確にし、さらに病院全体を活性化させるべく積極的な取り組みを行っています。特殊疾患病棟や脳血管疾患に特化した回復期リハビリテーション病棟の開設、一般病棟の展開、それに伴う職員体制の整備等もその一つです。特に、回復期リハビリテーション病棟は開設当初よりリハビリ専門の医師を配置し、その下で教育を受けたセラピストが活躍しており、研究活動も含めて全国的にも上位の体制が整っています。

患者様に対してはご納得いただけるまで説明すること、そしてご家族も含めたケアが重要です。回復期リハビリテーション病棟では家族参加型リハビリテーションを実施

しており、ご家族が患者様の状態を理解して病院との信頼関係を築いていただけるよう工夫しています。さらに、職員のモチベーション向上が質の高い、安心・安全な医療の提供に繋がるという考えから、十分な人員を確保して働きやすい環境づくりに努め、資格取得・学会参加の推奨や各種研修を実施しています。

今後は、埼玉医科大学国際医療センター、埼玉石心会病院といった急性期病院との患者受け入れに関する協力や各病院からの非常勤医の招聘、退院後のかかりつけ医として地元クリニックを紹介するなど、法人として地域の医療機関との連携も一層強化してまいります。また、当院は5年後を目標に建て替えを予定しており、災害時に地域一帯を守る拠点としても整備を進めていく所存です。職員一同、心を一つに日々研鑽してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



院長
原田 俊一

「靖和ブランド」を確立し更なる発展を目指します

このたび、平成29年4月1日より、飯能靖和病院 院長を仰せつかりました。直近の2年8ヶ月ほどは、関連施設の「飯能市東吾野医療介護センター」センター長として、飯能市山間部の地域医療、地域包括ケアシステムの構築等に携わってきました。当院は初代となる木川一男会長が「高齢者に対する優しい医療」を創業し、木川浩志理事長が「回復期・特殊疾患に裾野を拡げた」流れがあります。回復期病床が増えたとはいえ、リハビリテーション専門の医師やスタッフが揃っている施設は多くなく、回復期や特殊疾患の受け皿となる病院は限られているのが現状です。そんな中、この埼玉県西域において当院の役割をより強く打ち出していくために「靖和ブランド」を確立することが重要と考え、職員の意識改革も含めて病院全体を活性化させていく動きをとっています。

「靖和ブランド」は主に、①お年寄りに優しい病院 ②職員のモチベーション向上 ③信頼される医療の3つを軸とします。①は治療やリハビリから介護、看取りに至るまで

当院で完結することで、患者様ご家族のケアも含めた地域密着型の病院として機能します。②は各職種・部門の管理者クラスの代表を集めた運営会議を定期的に行い、トップダウンではなく職員の「やりたいこと」が反映される仕組みづくりを進めています。③は当院が入院だけでなく外来にも注力している点をPRするものです。必ずしも、退院後の職場復帰を求められない高齢者中心の医療であっても、専門的で、ある程度細かな介入が必要ではと考えています。症例として認知症や脳卒中が多い病院なので、私自身の脳神経外科医としての経験やノウハウも診療や勉強会等を通じて活かしてまいります。

今後、介護医療保険制度が見直される中で、受け皿の枠組みが変わり、医療が必要な高齢者と介護が必要な高齢者に分かれていますが、その見極め方は未だ不透明です。そこで、そのいずれにも対応でき、当院で完結する体制を強化していく所存です。今後とも何卒よろしく申し上げます。

病院基本理念

患者様の権利を尊重し、
心のかよう医療・看護・介護を実施します

病院基本方針

1. 思いやりのある患者様中心の医療・看護・介護を提供します
2. 医療の質の向上に努め安全な医療・看護・介護を提供します
3. 病診連帯を強化し、地域医療体制の確立に取り組みます
4. 研修・研鑽を積み次世代を担う医療従事者の育成に努めます

看護部基本理念

看護を必要とする人の意思を尊重し、
専門的知識・技術にやさしさと思いやりの心が調和する、
質の高い看護をめざします

看護部基本方針

1. 患者様に満足していただける看護を実施します
2. 他部門との連帯を図り、患者様中心のチーム医療を行います
3. 質の高い看護が出来るよう、職員の教育と研修を推進します

病院概要

設立年月日 昭和55年12月1日
理事長 木川 浩志
院長 原田 俊一
病床数 480床

- 医療保険適用病棟 314床
回復期リハビリテーション病棟 46床
特殊疾患病棟 120床
医療療養病棟 54床
一般病棟 34床
認知症治療病棟 60床
- 介護保険適用病棟 166床
介護療養病棟 166床

診療科目 内科・リハビリテーション科・
脳神経内科・精神科・皮膚科・循環器内科

施設基準 回復期リハビリテーション病棟入院料3
特殊疾患病棟入院料1
認知症治療病棟入院料1
地域一般入院料3
療養病棟入院料1
脳血管疾患等リハビリテーション料(I)
運動器リハビリテーション料(I)
療養型介護療養施設サービス費(I)



飯能靖和病院は、自然豊かな環境のもと 皆様が安心して医療に専念できる 療養環境をご提供しています。

飯能靖和病院がある飯能市は、人口およそ80,000人^{*}、埼玉県の西南部に位置し、都心から約50kmという近郊にありながら奥武蔵の豊かな森林に囲まれ、入間川源流の豊かな水に支えられた、自然環境に恵まれたまちです。 ※2018年7月現在

当院の特色について

埼玉県飯能市の地域医療を担う、医療法人靖和会 飯能靖和病院。昭和55年12月の開院当初から、心のかような医療・看護・介護をモットーに高齢者医療を専門として地域に貢献してきました。その志をさらに発展させ、今日では一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、特殊疾患療養病棟をはじめとする療養病棟、脳卒中予防のための脳ドックなどを展開し、より幅広い地域医療に携わっています。

現在、飯能靖和病院の総ベッド数は480床、スタッフ総数は約420名。急性期医療を終えてリハビリテーションを必要とする患者様や熱発、誤嚥性肺炎、脱水、褥瘡^{びくもが}など様々な症状をお持ちの患者様、重度の後遺症により長期の療養生活を求められる患者様、そして呼吸器管理が必要な患者様などを積極的にお受けし、充実した医療・看護・介護・リハビリテーションを実践しています。



飯能靖和病院全景



リハビリテーションセンター



南館 ロビー



埼玉県 No.04-11

NORDIC・WALKステーション

(社)全日本ノルディック・ウォーク連盟公認

ノルディックウォークステーション認定証

地域医療連携室の役割

当院では病院と病院、病院と診療所、病院と介護保険施設との連携を図るために、地域医療連携室を設置しています。医療ソーシャルワーカーが入院時のご案内・ご相談のほか、社会復帰に関する事や、安心して地域サービスの利用ができるように退院支援も行っています。

主な業務

- 入院のご案内とご相談
- 患者様・ご家族様からの相談業務
- 入院時・入院中・退院時の紹介機関への情報提供
- 紹介機関への訪問及び連携
- 後方連携機関への訪問及び連携
- 地域連携懇話会等への参加(地域ケアシステムの構築)
- 医療統計作成
- 院内の病棟ベッド移動等、連携・連絡調整
- その他

地域医療連携室直通 TEL.042-974-2786

受付時間 月曜日～土曜日 / 午前9:00～午後5:00 ※祝日は除く

入院までの流れ

入院相談

電話によるご相談を承ります。
この時点で診療情報提供書・ADL表等の提示又はFAXをお願いいたします。

判定

診療情報提供書・ADL表(日常生活動作)等にて、患者様の受け入れを判定いたします。

面談

健康保険証・介護保険証などの保険証類、減額認定証などをご持参の上、ご来院ください。
院内のご見学も歓迎いたします。

入院申込

入院申込書に必要事項をご記入の上、ご郵送または受付窓口までお持ちください。

院内調整

入院日が決定次第、ご連絡させていただき、最終確認を経てご入院となります。
ご希望の方には移送の介護タクシー等の手配も承ります。

入院

患者様は入院時の検査、ご家族様には入院の手続きをお願いいたします。



早期在宅復帰を実現する 飯能靖和病院のリハビリテーションセンター

当センターは一般病棟や回復期リハビリテーション病棟に入院されている患者様への「急性期・回復期リハビリテーション」と各種療養病棟に入院されている患者様への「維持期リハビリテーション」を提供しています。

「急性期・回復期リハビリテーション」ではご自宅で活動的な生活を送れるよう、生活行為全般を見直し、暮らしがいの発掘に努めます。

「維持期リハビリテーション」では快適な療養生活を送れるよう、できる限り身体機能や生活能力の改善に努めます。患者様に最適なりハビリテーションが提供できるよう、最先端なりハビリテーション機器を活用したり、埼玉県地域リハビリテーション協力医療機関として地域活動するなど、リハビリテーション拠点施設として活動の幅を広げています。

■ 基本方針

●リハビリテーション環境

ウェルウォークをはじめとした先端なりハビリテーション機器を用いてリハビリテーションを行います。脳卒中片麻痺のリハビリテーションでは多くの実績をあげており、各方面から高い評価を得ています。

●地域リハビリテーションへの貢献

埼玉県地域リハビリテーション協力医療機関として飯能市の介護予防事業に参加しています。患者様が安心して在宅生活を送れるよう、地域の医療機関や介護サービス事業所と連携して在宅復帰を進めます。

●リハビリテーション研究活動

リハビリテーションの効果を検証し、日本リハビリテーション医学会などリハビリテーション関連学会で発表します。



ウェルウォークによる歩行リハビリテーション



個別プログラムの紹介

■ 暮らしがいの発掘プログラム

フレイル(加齢とともに心身が脆弱化すること)によって介護を必要とする高齢者が増えています。フレイルから脱却するには、高齢者のQOL(生活の質)を尊重して暮らしがいを見直すことが大切です。当センターでは患者様がご自宅で活動的な生活を送れるよう、「暮らしがいの発掘プログラム」によって生活指導を行います。

■ プレースクリニック

毎週、リハビリテーション専門医、理学療法士、作業療法士、義肢装具士らによるプレースクリニックを開き、麻痺や関節拘縮などで装具が必要な患者様に対して装具を作製します。作製後も適合や破損・汚れなどをチェックし、メンテナンスします。

■ 摂食・嚥下リハビリテーション

安全に摂食・嚥下リハビリテーションが行えるよう、リハビリテーション専門医、言語聴覚士、看護師、診療放射線技師らによる嚥下造影検査を行い、適切な姿勢や食形態などについて検討します。患者家族の方々にも立ち会っていただき、誤嚥予防への理解を深めていただきます。

■ Cocoroe AR²やMagProによる上肢リハビリテーション

毎週、リハビリテーション専門医、理学療法士、作業療法士、義肢装具士らによるプレースクリニックを開き、麻痺や関節拘縮などで装具が必要な患者様に対して装具を作製します。作製後も適合や破損・汚れなどをチェックし、メンテナンスします。

■ ウェルウォークによる歩行リハビリテーション

脳卒中片麻痺に対する歩行練習ではウェルウォーク(トヨタ)を活用します。ウェルウォークは下肢装具の利点を生かした歩行練習ロボットで、自然に近い歩行が可能となります。最適な介助によって練習量が自然に増えるため、歩行の改善が期待できます。

■ ノルディックウォークステーション

ノルディックウォークを介護予防に役立てるために、全日本ノルディックウォーク連盟公認のノルディックウォークステーションを設置し、体験会やノルディックポールの販売を行っています。足腰の負担を減らして気持ちよく歩けると、多くの方に好評です。



CoCoroe AR²



MagPro



ウェルウォーク

回復期リハビリテーション病棟

回復期リハビリテーション病棟について

脳卒中や大腿骨頸部骨折などの患者様に対して、チーム医療による包括的なリハビリテーション医療を提供し、日常生活動作の改善と早期在宅復帰を支援します。
また、回復期リハビリテーション認定看護師の育成にも取り組み、平成27年1月からは「回復期リハ看護師」として認定を受けた看護師が病棟スタッフを率いてより質の高いケアを実践しています。

対象となる患者様

疾患	入院期限
脳血管疾患、脊髄損傷、頭部外傷、くも膜下出血のシャント術後、脳腫瘍、脳炎、急性脳症、脊髄炎、多発性神経炎、多発性硬化症の発症もしくは手術後	発症から 60日以内
高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害、 重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節・膝関節の骨折又は手術後	
外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており、 手術後または発症後	発症から 30日以内
大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の神経、筋又は靭帯損傷後	

特殊疾患病棟

特殊疾患病棟について

脊髄損傷などによる重度障害・重度の意識障害・パーキンソン病などの神経難病等の方々を対象に、長期間のケアおよび療養環境をご提供する病棟です。患者様の状況にあわせた投薬や、症状の緩和を図るなど、患者様一人ひとりに最適な医療をご提供しています。
人工呼吸器管理など常時医療的ケアが必要な方が対象となります。

認知症治療病棟

認知症治療病棟について

認知症治療が必要な方の専門病棟です。認知症による様々な精神的・身体的症状により在宅や施設等での生活が困難な方を受け入れております。精神保健指定医による専門的かつ適切な治療を行います。



医療療養病棟

医療療養病棟について

医療保険を利用して長期間の医療・療養環境をご提供する病棟です。酸素吸入などが必要で、医療の必要度の高い方の受け入れを積極的に行っています。

介護療養病棟

介護療養病棟について

介護保険を利用して長期間の介護・療養環境をご提供する病棟です。要介護認定を受けている方が対象です。

一般病棟

一般病棟について

一般病棟とは検査や治療を目的とした病棟です。発熱や肺炎、脱水症状などで集中的な治療が必要な患者様を受け入れています。(当病棟での急性期治療が終了次第、退院、転院、施設入所、または当院内の他病棟に移り治療や療養を継続していただきます。)





地域に密着した 信頼と安心の医療を行っています。

一般外来、各予防接種、メタボ検診等、80列CTを始めとした、他の急性期施設にひけをとらない充実した医療機器を備え、信頼かつ安心していただける医療体制を整えています。尚、専門外来は予約制となります。

外来診察科目	内科・リハビリテーション科 脳神経内科・精神科・皮膚科・循環器内科
外来受付時間	午前 9:00～11:30 午後 1:00～ 4:00
休診日	日曜日・祝日



高磁場MRIによる脳ドック検査で 脳疾患の予防・早期発見を行います。

当院では、静粛性に優れた1.5Tの高磁場MRI装置を導入しています。身体が入るトンネル部分も約1.5メートルと短く開放感があり、短時間かつリラックスして検査を受けていただけます。T2スター画像と呼ばれる特殊な画像は脳の微小出血の発見に大きな威力を発揮します。

撮影画像は脳神経外科専門医が診断し、もし何か発見された場合は必要に応じて埼玉医科大学病院及び同国際医療センターなどへの紹介等、迅速な対応をいたします。



高磁場MRI

外来・脳ドックのご予約・お問い合わせはこちらまで

TEL.042-974-2311 ●受付時間 午前9:00～12:00／午後1:00～5:00
(月曜日～金曜日 ※祝日は除く)

栄養科

患者様の栄養状態を維持・改善するため、各種検査結果や身体情報、摂食嚥下の状況を考慮した食事の提供をしています。

特に、様々な摂食嚥下機能に配慮した食形態を揃え、患者様の“食べる”をサポートさせて頂いております。そして、入院中及び退院後も患者様の身体状況や摂食嚥下機能を確認し、栄養指導を通して食生活のQOLが維持できるようアドバイスさせて頂いております。

また、健康維持を目的とした栄養指導も行っております。普段の食生活にお悩みのある方はお気軽にご相談ください。

放射線科

80列マルチスライスCTや1.5テスラMRIの導入、そのほかCR撮影装置、X線TV室など全ての画像データはPACS(医療用画像管理システム)にて一元管理し、院内LANを用いて各セクションにスピーディに提供しています。

検査科

チーム医療で検査体制をしき、診療支援に取り組んでいます。職場や学校等に健診結果を提出される場合や、他医療機関で要再検と判定されて受診される場合にも対応しています。

- 検体検査 ●血液検査(肝炎・糖尿病・貧血症・輸血検査 など)
●尿検査・インフルエンザ・ノロウイルス迅速検査 など
- 生理機能検査 ●心電図検査・ホルター心電図検査
●超音波検査【エコー検査】(腹部・心臓・血管など)

薬剤科

調剤、薬剤管理指導業務、医薬品情報管理業務、医薬品管理等を通じ、医薬品の適正使用の推進を図っています。

医薬品情報の提供や問い合わせ等を通じ、医師や看護師と共にチーム医療の一員として、患者様や地域の皆様に安全で安心できる医療を提供できるように努めています。

ケアマネジャー室

各市区町村より依頼された患者様の介護度決定の基となる要介護認定調査や、ご家族様より希望を聞き取り、看護師・介護職員・リハビリテーション・栄養科などの病院スタッフと連携し、患者様が安心して療養生活を送っていただけるように症状や状態に合わせて、ケアプランの作成及び見直しを行っています。

心のかよう医療で
皆様の暮らしを支えています。

埼玉県飯能市

アクセスマップ



交通のご案内

■ 電車をご利用の場合



■ お車をご利用の方

関越自動車道、鶴ヶ島JCTより圏央道青梅方面へ
狭山・日高インター飯能方面出口より車で約8分

方面	所要時間	方面	所要時間
練馬ICより	およそ45分	四つ木より	およそ90分
東池袋ICより	およそ70分	大宮より	およそ50分
品川より	およそ120分	八王子より	およそ50分

※所要時間は交通事情によって異なります。

■ バスをご利用の場合

- 西武池袋線 飯能駅 北口(イーグルバス)
飯能靖和病院・宮沢湖(温泉)・高麗川団地・高萩駅・ひだか団地方面行き
飯能靖和病院経由「飯能靖和病院」下車、徒歩1分

※お間違えにならないよう乗車前に「飯能靖和病院」方面が確認してください。
※バスの本数は少ないため、時刻表を調べてからのご利用をおすすめします。



HANNO SEIWA HOSPITAL